

今後の都市計画施設の見直し

卸売市場の移転について

今の卸売市場は、老朽化が著しく、耐震性や物流動線、衛生管理などの問題が多く、市場機能が低下している。

そこで白浜地区に移転・再整備を行い「播磨地域の食文化の拠点」にふさわしい卸売市場を目指すものである。



現在、整備工事着手にむけて、地元協議中
整備工事にあわせて都市計画決定予定

姫路・英賀保駅間新駅の開業について

駅距離間の長い姫路駅と英賀保駅の間交通結節機能を充実させることにより、再整備が予定されている手柄山中央公園やその周辺地区における利便性の向上と活性化を図ることを目的として新駅を設置する。



令和7年度開業に向けて関係者等と協議中
令和2年度中には都市
計画変更の予定

手柄山中央公園の再整備について

新駅の整備にあわせて、手柄山中央公園整備基本計画に基づく再整備を行い、市を代表する公園にふさわしい利用環境の確保を図るもので、これにあわせて公園区域の見直しもおこなう。

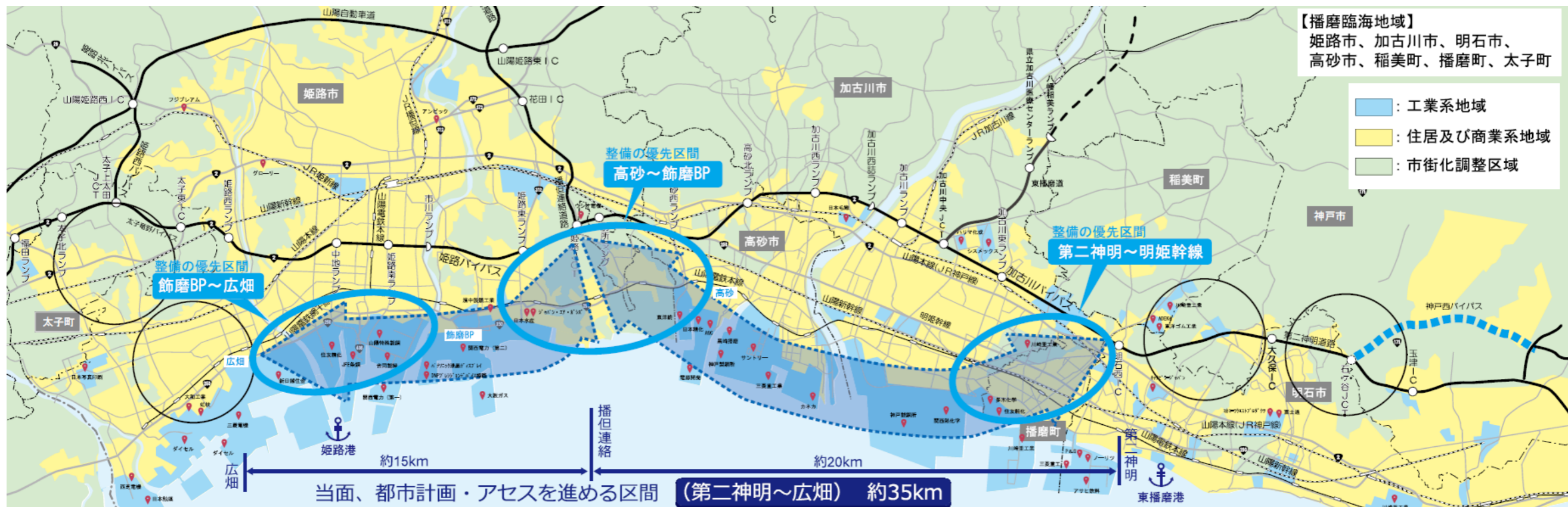


令和2年度中には都市計画変更の予定 56

播磨臨海地域道路の整備について

播磨臨海地域道路は、製造業の活性化、交通渋滞・交通事故の削減等を目的とした、播磨臨海地域の発展に必要な道路である。

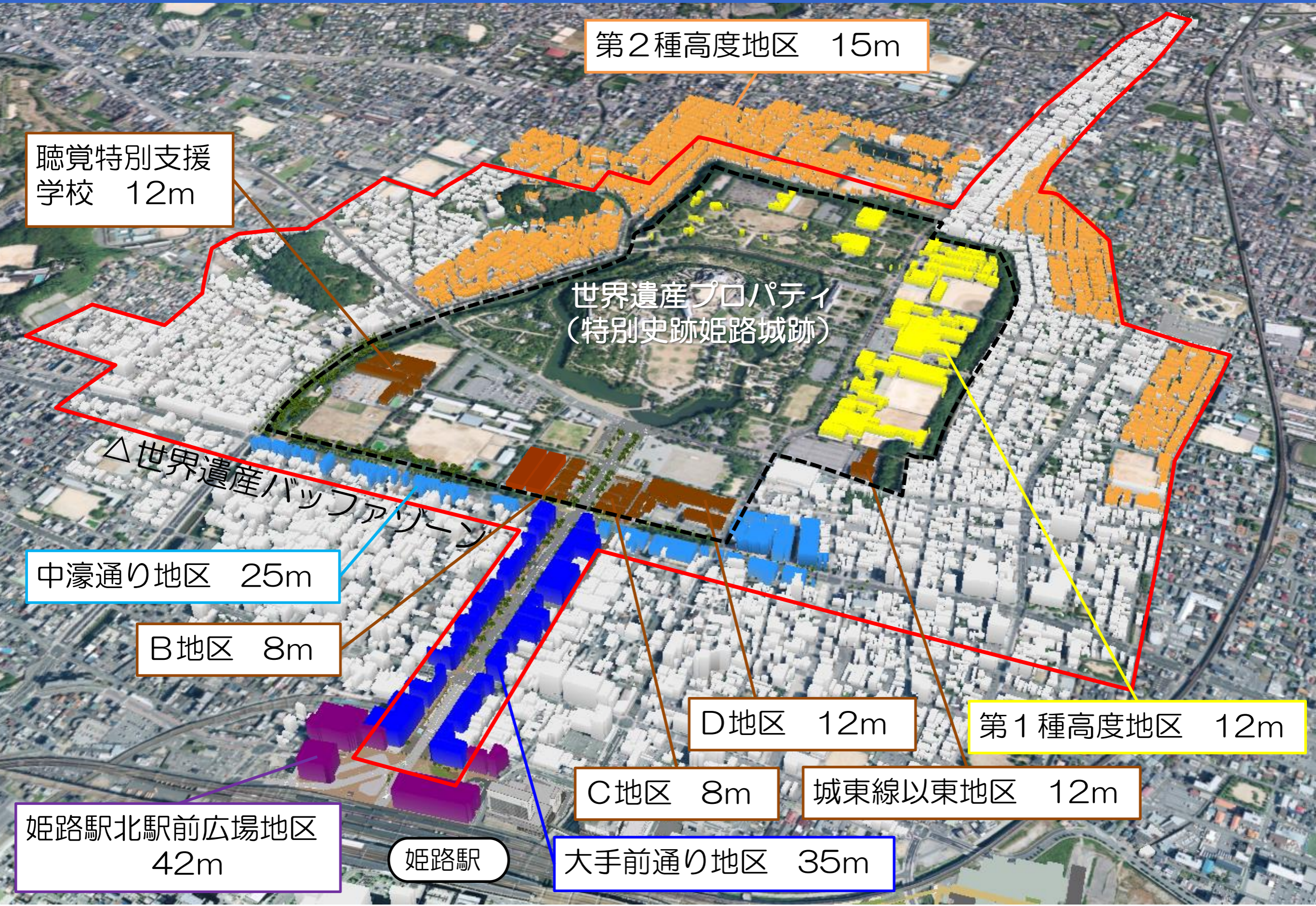
平成28年5月に「当面、都市計画・アセスを進める区間」と「整備の優先区間」が決定し、現在、国において概略ルートなどの検討が進められている。



内陸ルート案と沿岸ルート案、加古川バイパス接続案と第二神明接続案の計4案が示された。年内に案について住民や事業者などにアンケートの実施予定。

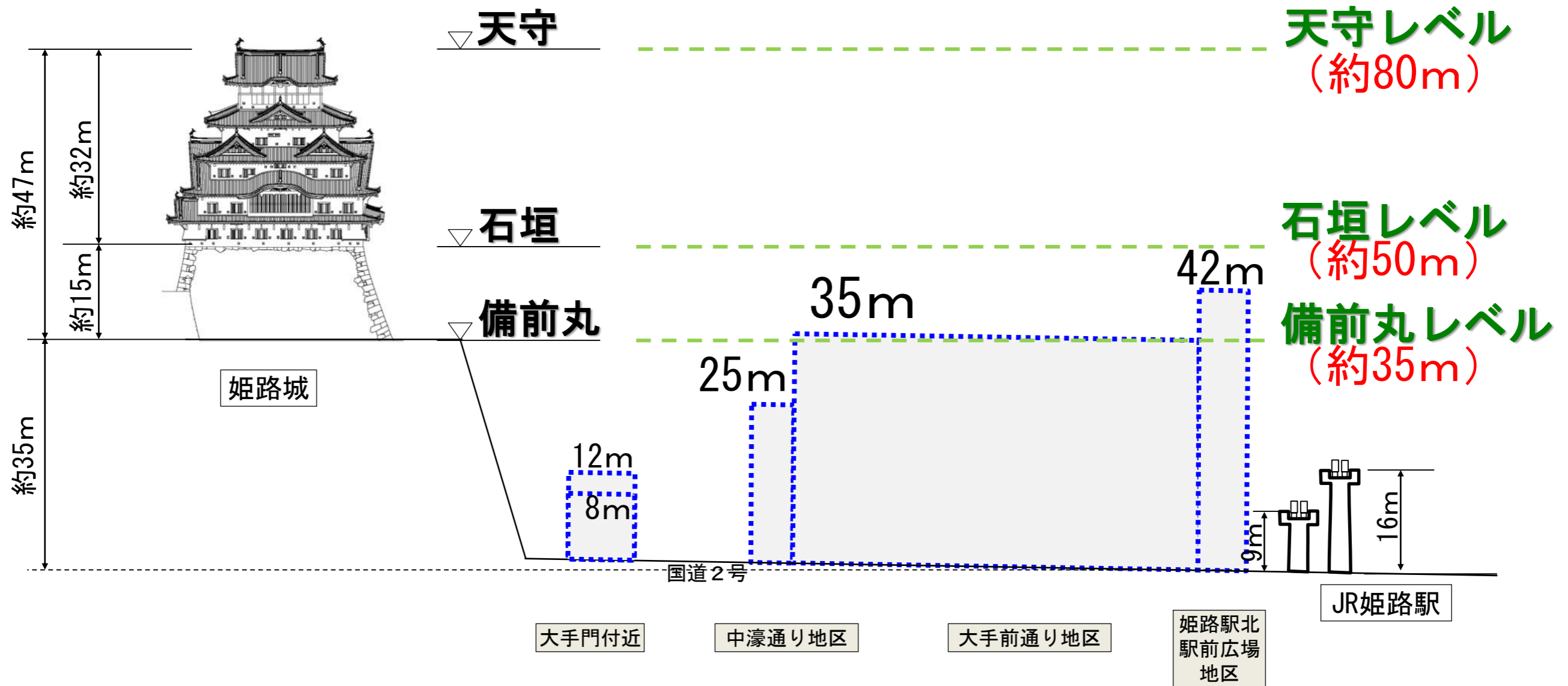
姫路城周辺の高さ規制

姫路城周辺における現在の高さ規制



姫路城周辺における今後の高さ規制

姫路城（天守・石垣・備前丸）を基準とした高さ規制



 : 現状の規制

姫路城周辺における今後の高さ規制

高さ規制の基本的な考え方

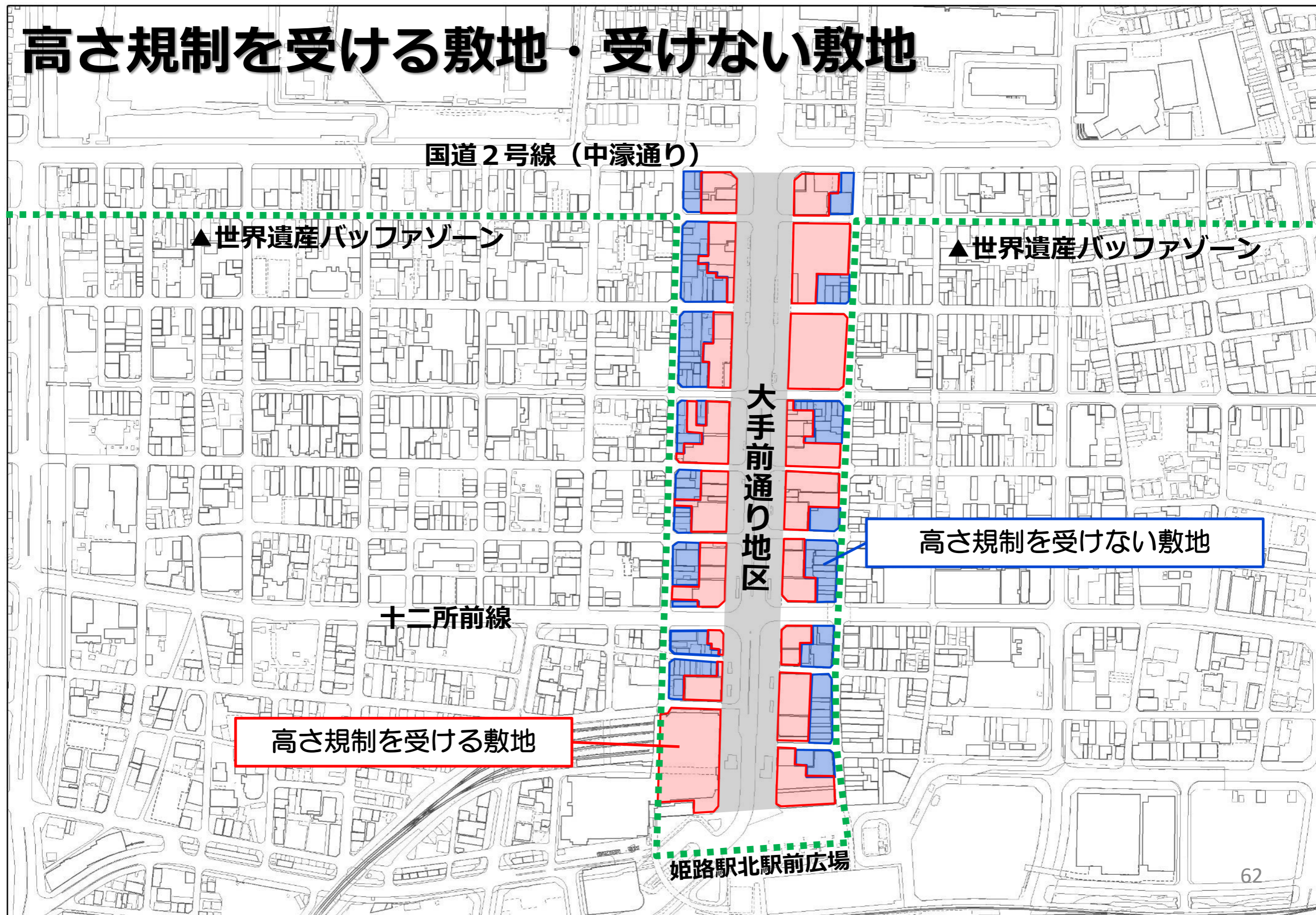
本市のシンボルである姫路城と調和した中心市街地の景観形成

姫路城（天守・石垣・備前丸）を基準とした高さ規制

エリア		高さの基準	規制手法等 (最高高さ)
バッファゾーン内	住居系用途地域	備前丸レベル	高度地区 (35m)
	商業系用途地域	備前丸・石垣レベル	高度地区 (50m)
姫路城周辺		天守レベル	総合設計制度等 (60m)

大手前通りにおける高さ規制の課題

高さ規制を受ける敷地・受けない敷地

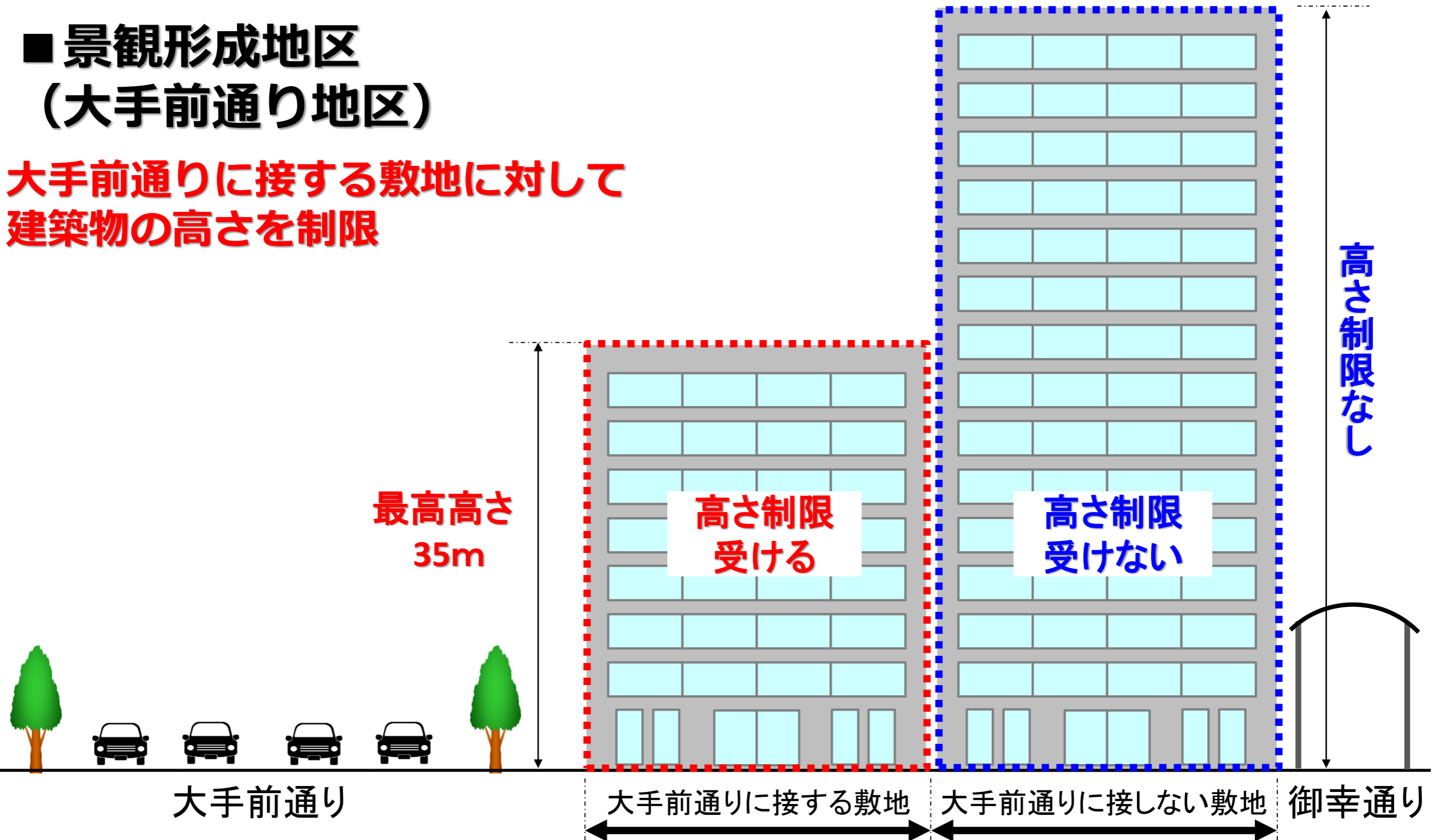


大手前通りにおける高さ規制の課題

現在の高さ規制

■ 景観形成地区 (大手前通り地区)

大手前通りに接する敷地に対して
建築物の高さを制限



大手前通りにおける景観上のリスク



現況
(キャッスルビュー：地上約8m)

大手前通りにおける景観上のリスク

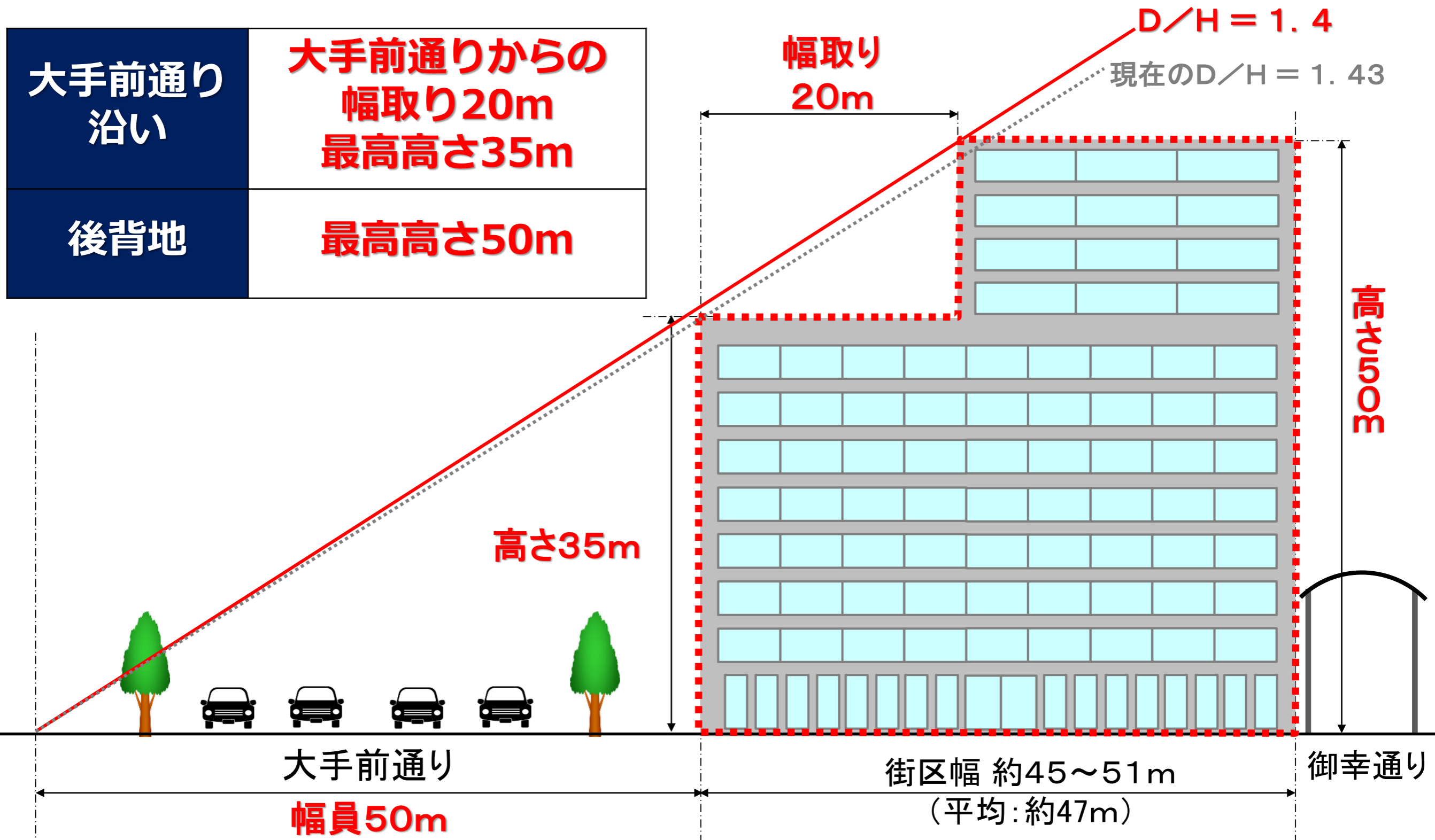


大手前通りに接していない後背地の敷地
(総合設計制度を使用した場合)
21階建て 高さ約68m

大手前通りに接する敷地を分割した
後背地側の敷地
(総合設計制度を使用した場合)
28階建て 高さ約92m

大手前通りにおける今後の高さ規制

大手前通りにおける今後の高さ規制案



建物の屋上広告物の高さ規制

約30年前の大手前通り
(昭和61年頃)



建物の屋上広告物の高さ規制

現在の大手前通り



工作物や屋外広告物を含む景観保全

高さ規制の課題

屋上広告物

屋上工作物

塔屋



ウォーカーカブル推進都市

ウォーカブル推進都市

「都市の多様性とイノベーションの創出に関する懇談会」中間とりまとめ 概要②

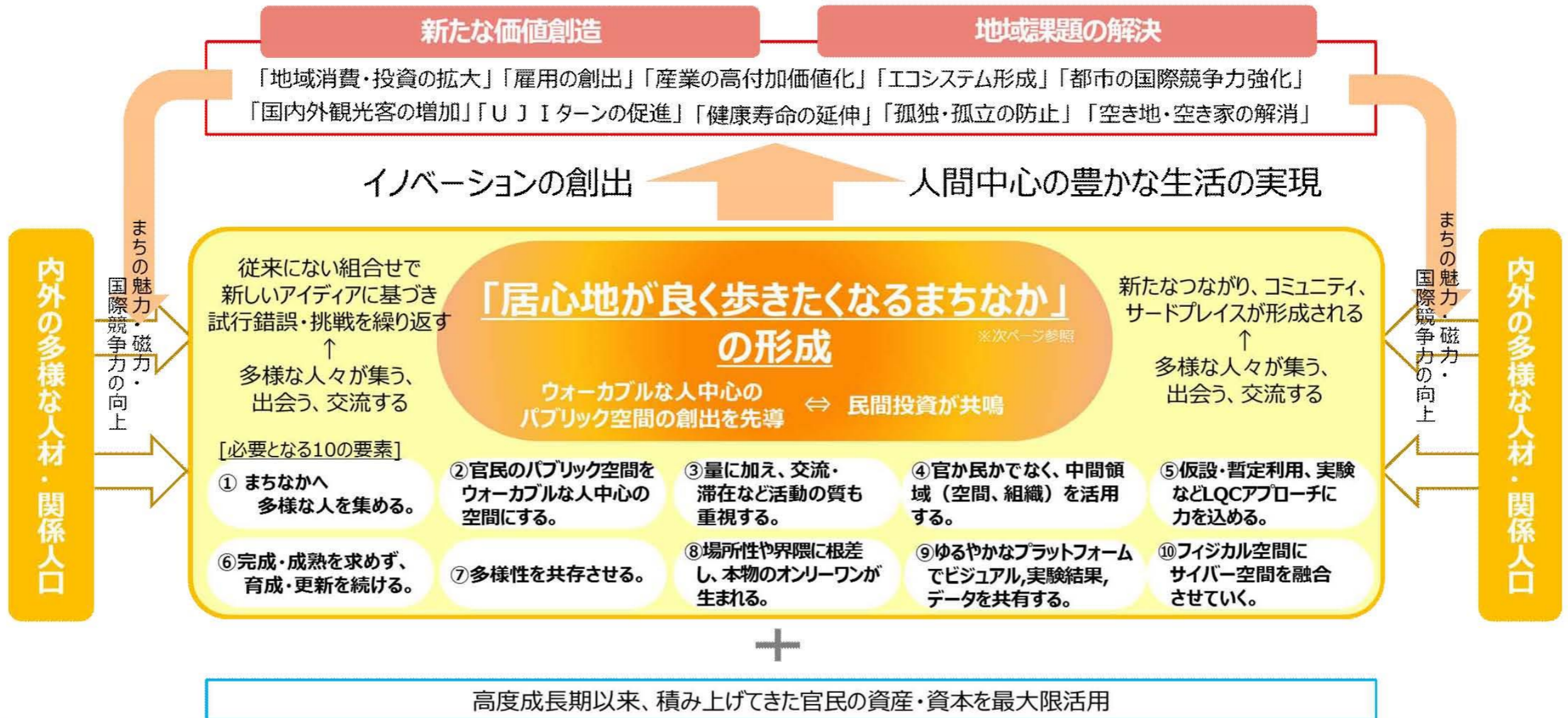
「居心地が良く歩きたくなるまちなか」からはじまる都市の再生

～都市におけるイノベーションの創出と人間中心の豊かな生活の実現～

2. 今後のまちづくりの方向性と「10の構成要素」

- 今後のまちづくりにおいては、コンパクト・プラス・ネットワーク等の都市再生の取組をさらに進化させ、官民のパブリック空間をウォーカブルな人中心の空間へ転換し、民間投資と共鳴しながら「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を形成する必要。
- これにより、多様な人々の出会い・交流を通じたイノベーションの創出や人間中心の豊かな生活を実現し、まちの魅力・磁力・国際競争力の向上が内外の多様な人材、関係人口を更に惹きつける好循環が確立された都市の構築を図るべき。

※地域特性に応じた取組を、歩ける範囲のエリアで集中的あるいは段階的に推進
※人口規模の大小等を問わず、その特性に応じた手法で実施可能



ウォーカブル推進都市

「都市の多様性とイノベーションの創出に関する懇談会」中間とりまとめ 概要③

「居心地が良く歩きたくなるまちなか」からはじまる都市の再生

～都市におけるイノベーションの創出と人間中心の豊かな生活の実現～

「居心地が良く歩きたくなるまちなか」形成のイメージ例

※地域特性に応じた取組を、歩ける範囲のエリアで集中的あるいは段階的に推進
 ※人口規模の大小等を問わず、その特性に応じた手法で実施可能



居心地が良く歩きたくなるまちなか

Walkable

歩きたくなる

居心地が良い、人中心の空間を創ると、まちなかへ出かけたいくなる、歩きたくなる。

Eye level

まちなかに開かれた1階

歩行者目線の1階部分等に店舗やラベがあり、ガラス張りで中が見えると、人は歩いて楽しくなる。

Diversity

多様な人の多様な用途、使い方

多様な人々の多様な交流は、空間の多様な用途、使い方の共存から生まれる。

Open

開かれた空間が心地良い

歩道や公園に、芝生やカフェ、椅子があると、そこに居たくなる、留まりたくなる。

都市構造の改変等

- 都市構造の改変（通過交通をまちなか外へ誘導するための外周街路整備等）
- 都市機能や居住機能の戦略的誘導と地域公共交通ネットワークの形成
- 拠点と周辺エリアの有機的連携
- データ基盤の整備（人流・交通流、都市活動等に係るデータプラットフォームの構築等）等

【イメージ例】

1階をガラス張りの店舗にリノベーションし、アクティビティを可視化
民間敷地の一部を広場化（宮崎県日南市）

2つの開発の調整により
一体整備された神社と森（東京都中央区）

駅前へのトランジットモール化と広場創出（兵庫県姫路市）

道路を占用了した夜間オープンカフェ（福岡県北九州市）

公園を芝生や民間カフェ設置で再生（東京都豊島区）

歩行者空間・環境空間の確保(歩行者優先のまちづくり)

整備前

環境空間: 26%



自動車

歩行者

その他

整備後

環境空間: 67%





高次都市機能の集積・強化（姫路駅周辺整備事業）



大手前通り（平成17年頃）

整備前



北駅前広場（平成15年頃）

駅ビルが駅前広場（キャッスルガーデン）に



にぎわい・くつろぎ・憩いの空間



人が交流する広場



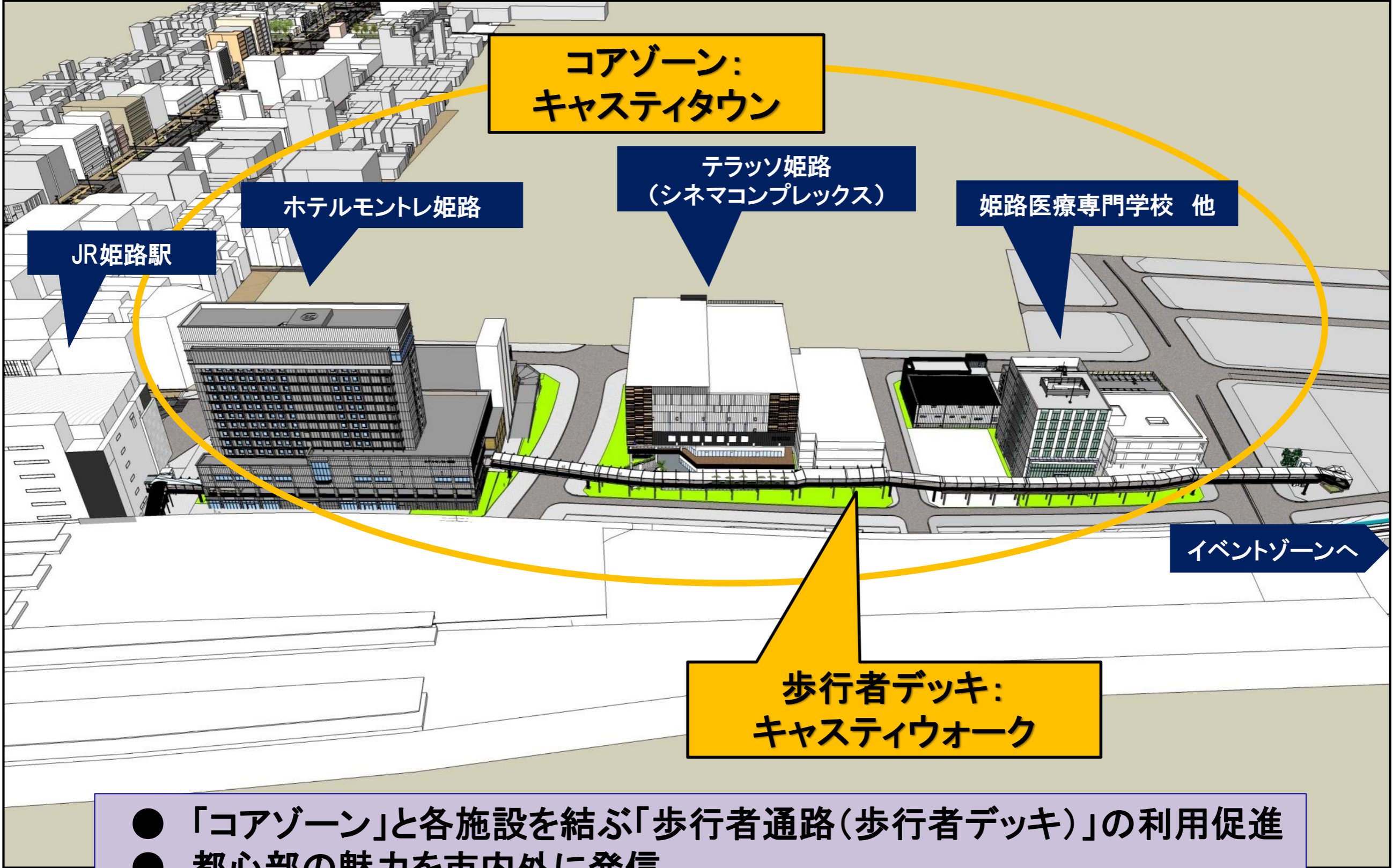
整備後



平成31年3月完成



キャスティ21コアゾーン・歩行者デッキ



- 「コアゾーン」と各施設を結ぶ「歩行者通路(歩行者デッキ)」の利用促進
- 都心部の魅力を市内外に発信
- 皆様に親しまれ、かけがえのない価値を持つエリアに !!

キャストイ21イベントゾーン



姫路市文化コンベンションセンター

新県立病院

キャストイ21公園

キャストイウォーク



駅広活用から沿道活用へ 大手前通り再整備コンセプトとゾーニング(十二所前線以北)

姫路城

【コンセプト】

「歩いて楽しい、大好きなお城への道」
～「ひと」が集い「まち」とつながる大手前通り～

【ゾーニング】

街路としての風格を演出する統一感を緑とあかりの連続性で表現しつつ、3つのゾーンを設定し変化を持たせ、歩いて楽しい道に。

中曲輪・城前庭ゾーン

【姫路城を感じる静かな休息空間】



商業賑わい・活用ゾーン

【市民主体の活用による賑わい空間、おもてなしの情報発信空間】



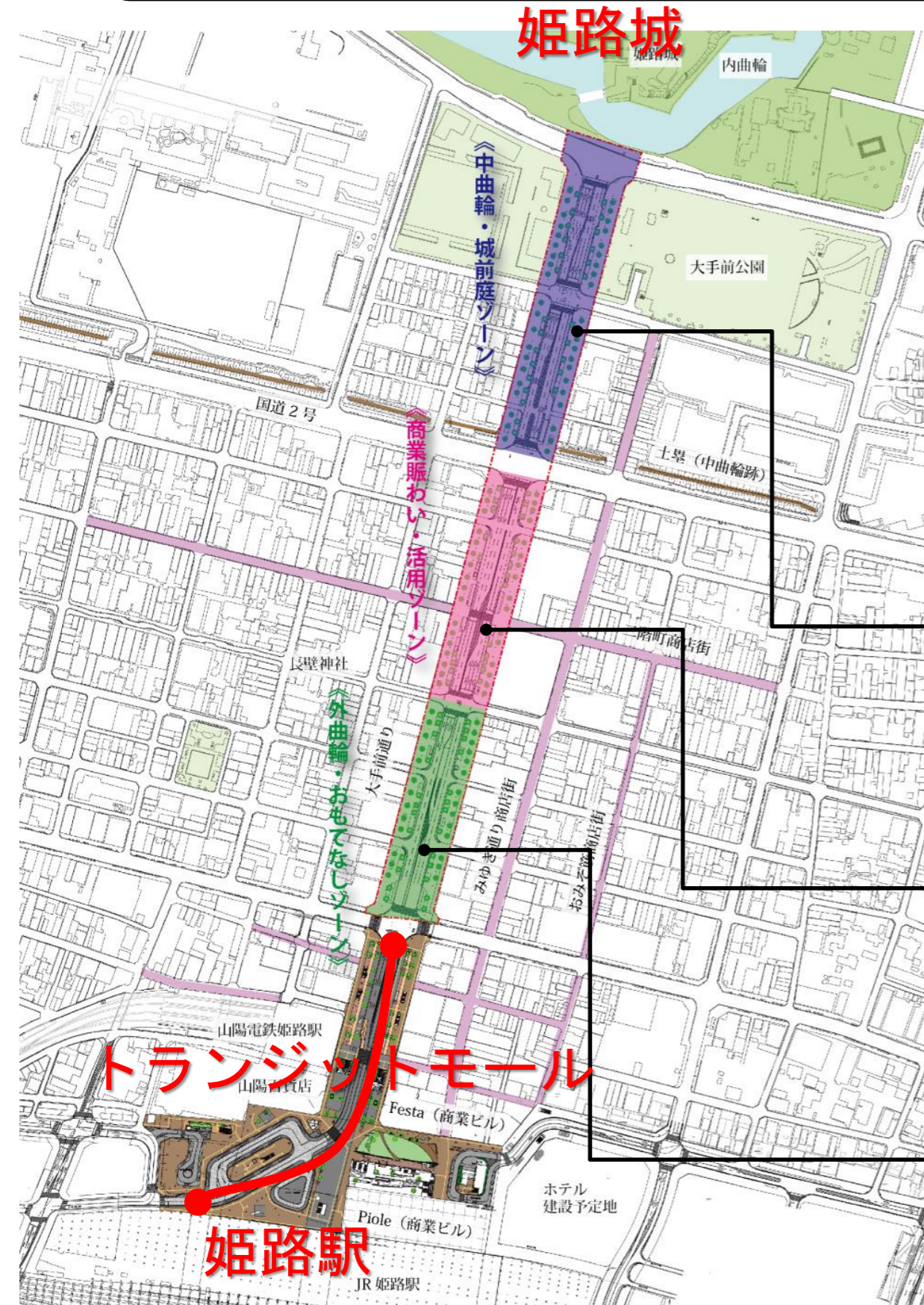
外曲輪・おもてなしゾーン

【緑と花のおもてなし空間】



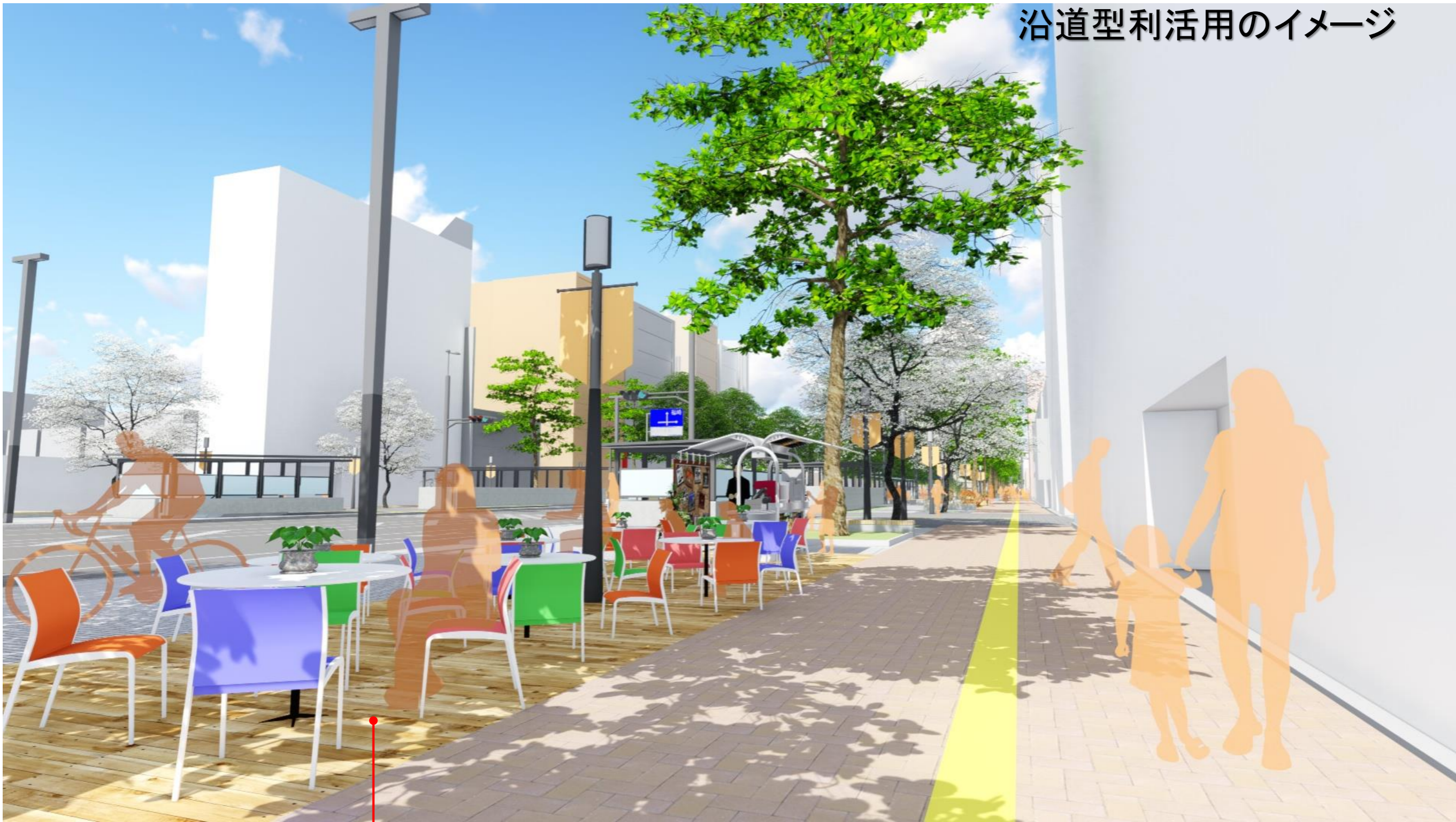
トランジットモール

姫路駅



道路空間再編による新たな利活用の挑戦

沿道型利活用のイメージ



ウッドデッキ



ご清聴ありがとうございました